

(別紙4(2))

事業所名: グループホームたなお

作成日: 令和 7年 6月 3日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	現在特定技能実習生を含み、正規職員5名、非常勤職員2名の計4か国7名の外国籍の職員が在籍している。申し送りなどが十分に伝わりきらず、ケアに影響してしまうこともある。	全職員がしっかりと情報を共有しながら、統一したケアの実施ができる	①法廷研修については受講後レポートを確認し、理解度をチェックする②翻訳機能を活用し、重要事項についてしっかり伝わっているか確認を行う③理解が十分でない場合は、管理組合の通訳を通してしっかりと理解できるように説明をする	12ヶ月
2	34	経験の浅い職員が多く、事故や急変時の対応が十分に行えない。また、危険や体調の変化を予知する視点が不足しており、早期発見やリスク回避が不十分である	研修などを通して事故防止の為の視点や常に全体を俯瞰してみる視点を養うとともに、体調の変化に気づけるポイントについて全職員が習得できる	①急変時の対応、リスクマネジメントに関する研修の受講②日々のヒヤリハット・事故報告書を活かした教育の実施③体調変化のポイントと対応方法を日々の実践の奏でOJTを行う	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。